



特集

2012年夏合宿 市民公開シンポジウム

「南相馬市における震災復興の現状と課題」

本特集は2012年9月10日に福島県南相馬市で開催された市民公開シンポジウムの記録である。

財政学研究会では、東日本大震災から約1年半を経て、震災の被害と復興の現状を直に知りたいとの思いから、夏合宿の機会に南相馬市を訪れた。本シンポジウムは、市民や専門家、行政が一体となって、震災復興の現状と課題を理解し、これからの地域振興のあり方を考えることを目的に開催された。

シンポジウムでは、同市の桜井勝延市長から、被災地の現場で市のトップとして奮闘してこられたお立場から、生々しい経験をお話し頂いた。続いて、原発立地問題に長年携わってこられた清水修二先生より、チェルノブイリでの調査の経験も踏まえての御講演があった。京都大学の植田和弘先生からのコメントの後、数多くの参加があった一般市民の方々と交えた議論が活発に行われた。

『財政と公共政策』編集委員会
